

令和8年度 通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科		科目		単位数	履修上の留意点	
理科		地学基礎		2		
指導目標	(1)日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。					
	教科書		副教材等		添削指導	面接指導
	改訂地学基礎				6回	8 単位時間
	多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無		☐ 実施している ☒ 実施していない	多様なメディアを利用した学習による減免後の面接指導時間数		該当なし
添削指導（レポート）						
回	学習内容				対応する 面接指導の回	提出期限
1	大地とその動き、地震				1	4月21日
2	地震、火山活動				2.3	6月16日
3	地球大気の特徴、大気の特徴とその運動、水の特徴とその運動、日本の天気と気象災害				4	7月14日
4	宇宙の構造と進化、太陽系の誕生				5	10月27日
5	地層と化石の観察、古生物の変遷と地球環境				6.7	1月12日
6	日本の自然の恵みと防災、地球環境と私たちの生活、これからの地球環境				7.8	1月12日
面接指導(スクーリング)						
回	単位時間	学習内容			実施場所	実施日
1		地球の内部構造とプレートについて理解させる。			各学習センター	4月
2		地震のメカニズムや火山、プレートテクトニクスについて理解させる。			各学習センター	5月
3		過去の地震、火山災害を知り、防災について理解させる。			各学習センター	6月
4		日本付近での天気の特徴を理解させる。大気や海水の運動についても理解させる。			各学習センター	7月
5		宇宙について基本的な知識を理解させる。太陽系の誕生や構成、地球についての基本的な知識を理解させる。			各学習センター	10月
6		地層からわかる情報を理解させる。			各学習センター	11月
7		地球の生命の誕生について理解させる。			各学習センター	12月
8		人類の進化と生物の変遷について理解させる。日本の自然環境、地球環境について			各学習センター	1月
多様なメディアを利用した学習						
計画段階では実施予定なし						
試験						
回数	試験範囲				実施場所	実施日
1	レポート1～3				各学習センター	9月
2	レポート4～6				各学習センター	2月
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準						
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。 所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。						
その他						
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。						